

2024 年度入学試験問題 (第 2 回)

社 会

(30 分)

【注 意】

- ① この試験の問題文・設問は、1 ページから 8 ページに印刷されています。
- ② 問題は **1** と **2** があります。
- ③ 解答は必ず「解答用紙」のきめられたわくの中にはっきり書きなさい。

1 次の文章を読み、以下の各問に答えなさい。

みなさんには、後に出てくる「図像」を「深読み」的に考察、分析してもらおうと思っています。以下、いくつかのことを学びつつ、「解説A・B」を読み、ついで、考察、分析へと進んでもらえればと思います。

【解説A】 (1), フランスをはじめ、「白人」たちが権力を握る「西洋」の強国は、大々的な(2)化を経て、圧倒的経済力、軍事力を得ると、第一次世界大戦(1914-18年)のころまでには、世界の地表の80%以上を支配します。大量に作り出される商品の販売先や原料を確保するため、アジアやアフリカを次つぎと侵略しては、その植民地にしていったのです。「西洋」の強国は、このような行為をこう説明して正当化しました。「我々西洋の白人が、野蛮なアジアやアフリカを文明化してあげるのだ」。このごう慢で人種差別的な正当化の理屈は、「西洋」の強国にとってばかり「都合のいい物語」と言えるでしょう。

【解説B】 「権力を握る西洋の白人」と言っても、実際に力を持っていたのは「白人男性」たちです。第一次世界大戦前、「白人」であってもほとんどの「女性」は選挙権も社会的活躍のチャンスもなかったのです。「西洋」から植民地へと向かった人々の大半ももちろん「白人男性」たちです。そして、彼らの多くは、そんな性差別的な状況を不思議とも思わず、「もうひとつの都合のいい物語」を共有していました。それはやはりごう慢で性差別的な、そして、またしても人種差別的な「物語」です。「アジアやアフリカは有色人種の世界で、そこでは有色の男性たちが、有色の女性たちを理不尽に支配している。自分たち白人男性は、そんな有色男性から有色女性を救い出すためにアジア、アフリカに行くのであって、だから、世界中の有色女性たちは、白人男性が来てくれるのを待ちこがれているのだ」。ここでの有色女性には、まだ見ぬ「西洋白人男性」に片思いしつつ、ただただその登場を待ちわびているばかりの存在なのでした。

それにしても、このように「白人男性にばかり都合のいい物語」は、彼らに侵略

される側からは、どのように見られていたのか？ 例えば、ということで、第一次世界大戦のころの中国の反応を見てみます。

中国は(3)戦争(1840-42年)以来、「西洋」の強国からの侵略を受け続けていましたが、第一次世界大戦当時は、急速に力を付けてきた日本からも侵略を受けていました^①。だから中国国民の間では、「西洋」はもちろん、日本への反発も強まっていました。そして同時に中国政府も、侵略者の言うがままということで、厳しく批判されています。

ところで、これから見る **図像** もそうなのですが、ときに「中国政府＝女性」として描かれることがあります。どうやら中国政府は、侵略者にこび、へつらって、やすやすと侵略を受け入れているとみなされていて、それはまるで「女みたいだ」ということで批判されているようなのです。現代の感性からすれば、受け入れがたい発想であることを確認した上で、この **図像** と **解説A・B** を「深読み」していきます。

例えば、**解説A・B** の「物語」、つまり「西洋白人男性」目線以上のような東アジアの状況をとらえなおすといろいろなことが見えてきます。その舞台、東アジアは「有色」の世界です。**解説A** の「物語」にそくして言えば、そこは十分に「(ア)」な所でなければなりません。そうでなければ、そこを「(イ)」化してあげる」ということにならないからです。また、**解説B** の「物語」にそくして言うと、中国を侵略する日本は「理不尽な有色男性」、中国は「理不尽に支配される有色女性」ということになります。とすると、「ここは西洋白人男性の出番^②ということになるでしょう。

では実際の歴史はどのように進んだのか。このときの中国について結論的に言うと、**解説B** の「物語」のようにはぜんぜん進みませんでした。第一次世界大戦は半年におよぶ講和会議を経て、(4)条約(1919年)によって決着しますが、「西洋白人男性」たちの強国が、中国を救うことはなく、かえって日本の中国に対する侵略結果をそのまま承認してしまうのです。これに対して中国国民は激しく反発し、それは、(5)と呼ばれる大規模な反侵略の動きとして表れます。しかし一方で、「西洋」の強国は**解説A** の物語をあきらめるつもりはなかったようです。日本がこの講和会議で主張した「人種差別撤廃」という提案は、却下されて

います。西洋の強国がその侵略を正当化する **解説A** のあの「物語」は人種差別なしには成り立たないことを思い起こしましょう。

このように、「西洋」の事情に左右される「物語」ではありますが、歴史を考える道しるべとしては大切です。とにかく、これらの「物語」を知っている人は、これらの「物語」を使って「深読み」することも、「深読み」しないこともできますが、これらの「物語」を知らない人は、これらの「物語」を使って「深読み」することは決してできないからです。そして、さらに言う、これらの「物語」に潜^{ひそ}んでいる問題 ^③は今も解決されているとはとても言えないからです。



図像

ているのです。そして、この「花嫁」の雰囲気、明らかにワクワクしている感じがすよね、これからやってくる「花婿^{はなむこ}」を待ちかねているようなたたずまいが描かれています。この作品のなかで中国政府がからかわれていることは明らかでしょう。でも「花婿」は誰？ ポイントはここに 있습니다。この雑誌、実は、中国語だけでなく、英語を併記していました。その読者には「西洋白人男性」が想定されていた

最後は **図像** の解説、分析です。

このイラストは、中国初の漫画専門雑誌『上海滑稽^{シャンハイパック}』創刊号(1918年)の表紙です。作者沈^{ちん}洳^{はく}塵^{じん}は、中国を食い物にする侵略者や、言われるがままに侵略を受け入れる中国政府を皮肉な笑いで批判するその作風で、たいへん人気がありました。そして、このイラストもそんな作品のひとつに他なりません。

イラストは中国政府の代表(中華民国総統)に就任したばかりの徐^{じょ}世^{せい}昌^{しょう}という政治家を描いたものですが、その徐世昌は、イラスト中央で「結婚式直前の花嫁」のように描かれて

はずなのです。とすると、この「図像」は、彼ら「西洋白人男性」をもからかった作品だ—という「深読み」^④ができるかも知れません。

それにしても、「ひげのおじさんの花嫁姿を描くこと」が、どうして「からかい」
として成立するのでしょうか？ この問題については、中学、高校を通じて考え
を深めてほしいと思います。

問1 下の語群から適当な語句を選び、空らん(1)～(5)に当てはめ
なさい。

イギリス, 韓国, スペイン, 中国, 日本, ロシア, アヘン, 日清, 日中, 南北,
工業, 商業, 農業, 義和団運動, 五四運動, 米騒動, 三一独立運動,
ベルリン, ヴェルサイユ, ポーツマス, ロンドン

問2 空らん(**ア**)(**イ**)に適当な語句を当てはめなさい。ただし語句は
「解説A」の「物語」から抜き出すこと。

問3 以下の語句を用いて、下線部①にいたる日本の歴史の流れを説明しなさい。
【日露戦争, 殖産興業, 条約改正, (対華)21ヶ条要求】

問4 下線部②について。なぜそう言えるのか, 説明しなさい。

問5 下線部③について。今も克服^{こくふく}されていない「問題」を2つ指摘しなさい。
「解説A・B」から抜き出すこと。

問6 下線部④について。次の文章(1)～(3)の説明としてふさわしいものを記号ア～エから選びなさい。

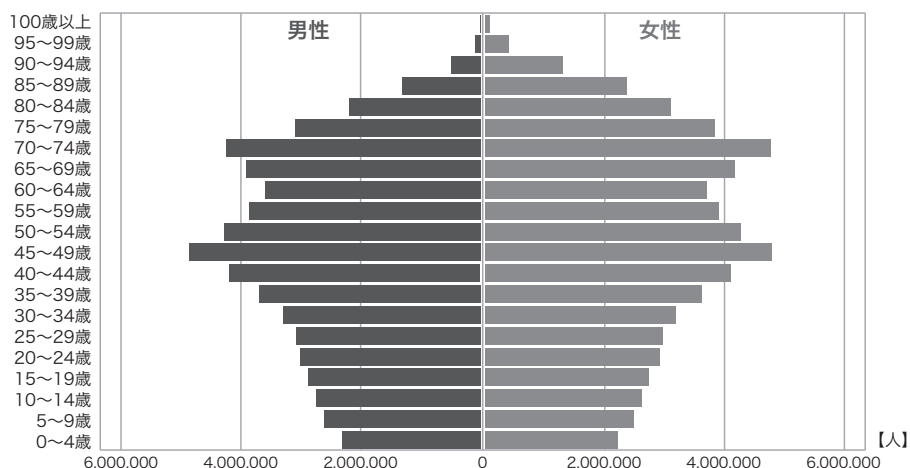
- (1) 「西洋白人男性」が、侵略対象の中国を「女性」とみなしていることを、沈泊塵は見透かしている。
- (2) 「有色女性はみんな自分たちに片思いしてる」というような「西洋白人男性」たちの勘違いを、沈泊塵は見透かしている。
- (3) 沈泊塵は、「西洋(白人男性)」が「中国(有色女性)」を救ってくれるはずがない、と思っている。

- ア (1)は正しいが、(2)(3)はまちがっている。
- イ (1)(2)は正しいが(3)はまちがっている。
- ウ (1)(2)(3)とも正しい。
- エ (1)(2)(3)ともまちがっている。

2 資料を参考にして各問に答えなさい。

問1 「資料1」に関して、日本の人口についての説明としてあてはまらないものを2つ選び、記号で答えなさい。

〔資料1〕 2020年「国勢調査」による男女別年齢構成



(総務省「統計Dashboard」, 2023年)

- ア 第2次世界大戦の直後数年間の間、出生数が増加した時期が続き、後にベビーブームと言われるようになった。
- イ 1973年前後にも出生数が増加した時期「第2次ベビーブーム」があり、これはベビーブーム世代が親となって子どもを産んだことが背景になっている。
- ウ 2000年前後に出生数が増加する時期がやってくる可能性があったが、実現しなかった。
- エ 2030年前後に次のベビーブームが起ころうと予想されている。
- オ 女性の方が男性よりも長寿である。
- カ 2070年ごろには2020年現在よりも高齢者の人口が減少すると予想される。
- キ ベビーブームのようなことが一度起こると、戦争などの極端な理由で大きく人口が減少しない限り、その後は周期的に出生数が増加する時期がやってくる。
- ク 2070年ごろには大幅な人口減少が生じると予想される。

問2 政府は1994年のエンゼルプランなどで少子化の主な原因をA～Dであると
し、対策を行ってきました。

[資料2]

- | | |
|---|----------------|
| A | 子育てと仕事の両立の難しさ |
| B | 育児の心理的肉体的負担 |
| C | 住宅事情 |
| D | 教育費等の子育てコストの増大 |

① [資料2] A～Dの対策としてあてはまらないものを2つ選び、記号で答えな
さい。

- ア 働いている間に子どもを預けられる保育所の増設
- イ 学校教育のデジタル化の推進
- ウ 働く時間を短くし、休みを多くする働き方改革の推進
- エ 成人となるのを20歳から18歳にする成年年齢の引き下げ
- オ 高校の授業料を補助して多くの学校で実質的に授業料を無料にする
- カ 子どもが小さいときに仕事を休んだり、働く時間を短くしたりする育児休
業制度の充実

② 政府は、都道府県・区市町村に資金を提供して、地域の少子化対策を支援し
ています。次の表はその例です。

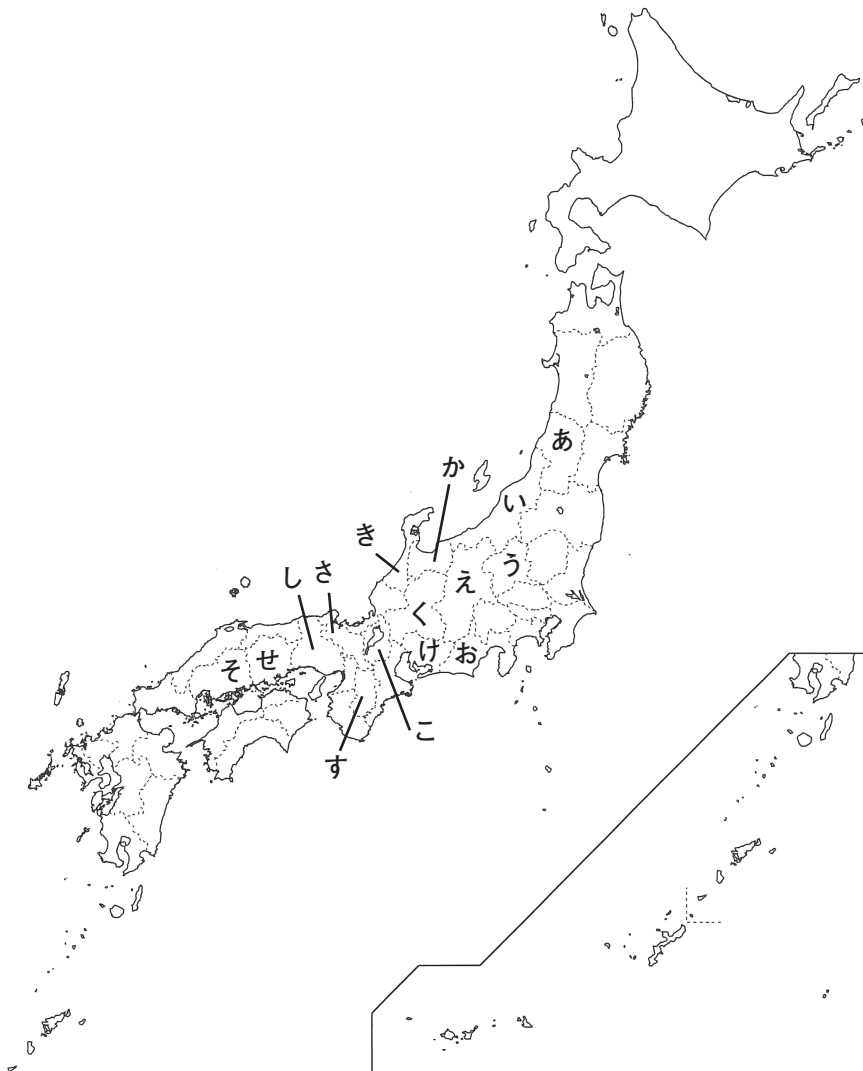
[資料3]

	都道府県	事業
1	石川	結婚応援パスポート
2	愛知	訪問型子育て支援
3	滋賀	結婚新生活支援
4	兵庫	育児支援サービス等の体験

(内閣府子ども・子育て本部『地域少子化対策重点推進交付金採択事例集』
令和4年度版などから作成)

[資料2]のB「育児の心理的肉体的負担」の対策としてあてはまるものを
[資料3]の1～4から、数字を2つ選び答えなさい。

③ [資料3]に示されている各県の位置を地図の中から記号で答えなさい。



問3 日本国憲法は社会権の1つである生存権について次のように定めています。空らんには当てはまる語を答えなさい。

第二五条 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の()を営む権利を有する。(以下略)

